

3月3日は耳の日

“難聴のリアル”を知って欲しい～難聴に関する理解促進動画制作開始～

福岡市を拠点に活動を行う難聴の子を持つ家族会そらいろ（福岡市、会長：岩尾至和）より、3月3日の耳の日に際し、当家族会の直近の活動内容をお知らせいたします。

【1】約180万円のクラウドファンディング成立・難聴理解促進動画をKOO-KIとスタート！

この度、映像制作会社・KOO-KI(空気株式会社・福岡市)と共に、「難聴に関する理解促進動画」の制作を開始いたしました。これは昨年12月より展開していた「難聴ってそうなんだ！『聞こえづらい世界』の正しい理解を常識に」をテーマに展開したクラウドファンディング成立（※）によるもの。「子どもから大人まで親しみやすい動画を作って多くの人に発信することで“難聴に関する正しい理解”を広めていきたい」という想いは、当初目標を上回る約180万円のご支援をいただくことができました。

ディレクターをご担当いただく同社副社長・白川東一氏が手がけた「ミスターシェイプ」は世界10カ国以上で上映され、知育アプリ「タッチカード」はグッドデザイン賞、文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。福岡市科学館の特別展「スケスケ展」を企画・演出や博多大丸福岡天神店・キッズフロアの全面プロデュースなど、映像表現に留まらず福岡～世界と多岐にわたりご活躍されております。心強いパートナーと共に、7月の完成へ向けて取り組んでまいります。（※）<https://readyfor.jp/projects/sorairo>

白川氏が手がける「Mr. Shape（ミスターシェイプ）」の展開事例



「Mr. shape」episode4
Animation



「ハイタッチ！タウン」Floor produce
(博多大丸福岡天神店)



「Mr. shape」のタッチカード
Application

【2】(株)デフサポ 牧野氏より『難聴児が小学校で身に付ける力』をオンラインで学ぶ

第18回定例会（2月21日：10時～12時）は、株式会社デフサポ代表・牧野友香子氏をお迎えし「難聴児が小学校で身に付ける力」をテーマとして実施。初のオンライン開催に27家族（当家族会22家族）が参加し、ご自身も重度の難聴である牧野氏の話をもっと多くの方に触れてもらいたいことから手話通訳士・字幕付きにて展開される中、理解と意識が深まってきました。参加者からは「聞こえない人の感覚がわかった気がする」「聞こえる人とそうでない人の“常識”が異なることを知れた」「過保護にならず、でも守りながら多くの経験をさせて小学生のうちに失敗を重ねることが大切だと思う」などの声が寄せられました。



<講師・(株)デフサポ牧野氏：左下>

■KOO-KI(空気株式会社)について (<https://koo-ki.co.jp/>)

映画やドラマ、TVCM、ゲーム、アプリや体験型コンテンツなどの企画・演出・制作を手がける。実写・CGなど幅広い表現手法を持ち、エンターテインメント性の高い世界観に定評がある。カンヌ国際広告祭をはじめ、国内外で250以上の受賞実績もあり。東京2020五輪招致PR映像「Tomorrow begins」も同社によるもの。近年はドラマや映画などの長編作品の企画、監督も行う。

【本件に関するお問い合わせ先】 <https://sorairofukuoka.jimdofree.com/>

難聴の子を持つ家族会 そらいろ：岩尾（いわお） e-mail：yukikazu_iw203@blue.plala.or.jp